

The Measure of Confidence



アジレント・テクノロジー ランチョンセミナー

日時 **10**月**28**日(木) **12:10** ~ 13:00

会場 第**3**会場 ソニックシティホール 4階：国際会議室

「アレイCGH法が臨床遺伝学にもたらしたもの」

東京女子医科大学統合医科学研究所
特定非営利活動法人染色体・遺伝コンサルジュ
山本俊至 先生



アレイCGH法の有用性は今や誰もが認めるところである。原因不明の多発奇形症候群(MCA/MR)における微細染色体異常は、ほとんどの解析実施施設において10-20%と報告されている。また、解析対象は自閉症などの発達障害や精神疾患など、外表奇形のない神経疾患にまで広がってきている。アレイCGH法によるデジタル染色体解析ではカルノア固定液による標本作成などの必要がなく、解析対象のDNAサンプルさえあれば比較的簡便にできるため、導入を始める動きが盛んになってきた。しかし、最終的な結論を導き出すためにはFISH法などによるvalidationや、細胞遺伝学的な解釈が必要であることは強調されなければならない。本講演では、演者施設におけるアレイCGH法による研究成果や臨床応用の実績など、これまでの5年間の取り組みを紹介し、今後の展望について考えてみたい。

「Copy Neutral LOH 検出可能な 新しいCGHアレイ等のご紹介」

アジレント・テクノロジー株式会社 ライフサイエンス部門
バイオアプリケーショングループ 澤田裕子

高い解像度と精度でDNAコピー数変化を検出するアジレントCGHアレイは、癌や原因不明の先天性疾患の原因領域探索などに広く使用され、最近では診断への応用も検討されています。さらに、この優れたコピー数変化検出能に加え、片親性ダイソミーなどcopy neutral LOHの検出をも可能とする新タイプのアレイを発売する予定です。本講演では、この新製品の原理や特徴、海外でのCGHアレイを用いた最新の診断応用例などをご紹介します。



【お問い合わせ窓口】

アジレント・テクノロジー株式会社
本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町 9-1
カスタムコンタクトセンター TEL. 0120-477-111



Agilent Technologies